

令和4年度 新子安地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状

・新子安: 大型マンションが多く、子育て世代が多い地区。歴史ある「なべの会」による、一人暮らし高齢者を対象にした食事が有名。こどもが多いことから、将来のまちの姿を皆で共有しながら、多世代交流や、ご近所同士の見守り、支え合いの推進。新しい住民とのつながり作り、地域活動情報の発信方法の検討が重要。

・入江: 交通の便が良く単身者が多い地区。防災意識が高く、災害時要援護者支援の仕組みも整っている。「隣人との絆と連携」を合言葉にサロンなど住民同士の支え合いが充実している。かな一ちえのサテライトが出来ることから子育て世代を巻き込んだ地域活動や多世代交流の場づくりが重要。

・子安通1丁目: 古くから漁業が行われ、今は屋形船や釣り船、アナゴ漁が有名で、レトロな街並みからTVのロケーションや、写真家が風景撮影を目的に訪れている。防災への意識が強く住民同士の繋がりが強い。高齢化が進む一方、ワンルームマンションも増え、地区の住環境も変化し、担い手不足が課題。住民が集まって活動する場が少なく、場作りも重要。

・浦島丘: 高台にあり、坂や階段昇降が必要な所が多い地区。人口、面積とも小規模な地区であるが、防災・減災体制の強化や誰も見守り、支え合える仕組み作りの為、挨拶や声掛けで繋がりを強化している。こどもから高齢者まで誰もがつながり合うまちとして、多世代交流の機会や集いの場作りが重要。

神奈川: 17町会あり、区内で一番の町会数となる。宿場があったことから、歴史のある寺や神社が多く、祭りなどの行事を大切にしている。「神奈川地区支え合いチーム」があり、地域の見守り体制が構築されている。交通の便が良く、公共施設も多い為、マンション数が多い。子育て世代が多い反面、戸建ての多い地区は高齢化が進んでいる。これまで行われてきた活動と若い世代の力のつながりが重要。

今後の方向性

ケアプラザの担当エリアが東西に細長く、遠方の地域の方はケアプラザに来所するのが困難である。それぞれのエリアに支援が行き届くように、多機関、多職種連携を図り、出張講座等地域支援を行っていく。全てのエリアで担い手不足や多世代交流の場づくり、つながり作りが必要と思われ、ケアプラザは高齢者の施設と認識されていることが多く、子どもや障がい児・者に対しても、相談窓口であることを周知する必要がある。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	月に1度行う地区支援グループ会議での情報を各職種で共有する。 地域に出向いて社会資源の再調査を行い、「生活お役立ちマップ」を更新し、地域住民に配架し共有する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	様々な場(会議、立ち話、自主事業、貸館利用時、地域行事や会合)でニーズ把握すると共に、担い手を実際の取り組みに繋げていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	令和3年度協議体として立ち上がった、「子安台買い物支援プロジェクト」の買い物支援バスを安定して継続できるよう協力し、運営主体が地域住民になっていくよう支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域のサロン等に参加し、地域課題やニーズの把握を継続する。コロナ禍が続く中、様々な介護予防、啓発活動を考え提供していく。サロンや通いの場は活動が継続できるよう、感染対策等を助言していく。 通いの場同士の横のつながりを構築し、課題の共有の場として、昨年度開催できなかった「通いの場交流会」を秋頃に開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーと民生委員児童委員との情報交換会を開催し、顔の見える関係づくりを行う。お互いの役割を理解する事でケースの相談や今後の連絡方法の確認など連携しやすい体制作りをしていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

【各項目の振り返り】

1-2 地域アセスメント

コロナ禍においても再開した地域活動に積極的に参加し、また、個別の相談支援などから地域住民の声を聴き、情報収集をするように心がけた。集めた情報を随時更新し、地域に向けた取り組みや地域に必要な資源(人、物、場所など)について所長、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員で六職種会議にて考察をし、共有した。

1-4 社会資源の開拓・開発・支援

ウィズコロナということで地域の活動が徐々に再開されつつある中、サロンやグランドゴルフなどへ出向き地域住民のニーズの把握に努めた。地域住民同士の交流の場の維持や活動再開に対して地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターなどが協力、後方支援を行った。

1-4 社会資源の開拓・開発・支援

「子安台買い物支援プロジェクト」では住民と協力して買い物支援バスの定期的な運行ができた。住民への周知や広報の方法、継続運営での課題など協議を重ね、プロジェクトの支援をした。利用者人数は横ばいではあるが少しずつ地域に根付いた活動となってきた。

1-5 ネットワークの構築・支援

地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが地域のサロンなどに参加し、引き続き、感染予防対策をふまえた活動ができるように助言した。また参加時には担い手や参加者から地域情報の収集を行い、地域課題やニーズの把握を行った。サロン情報などは必要な地域の方へ繋げるなどネットワークの拡大に努めた。

2-3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

サロンが少ない地域において、ケアマネジャーの個別ケースのニーズから麻雀サロンなどインフォーマルサービスの立ち上げ支援、共有を行った。同時に地域の民生委員の協力も仰ぎ、サロン等を通じてお互いの負担が少なく見守るにはどのような体制が必要か模索している。今後、ケアマネジャーの支援や民生委員との交流会などを企画。地域の課題や思っていること、お互いの悩みを話し合い地域の包括的・継続的支援につなげていく。

【全体を通して】

徐々に再開されつつある地域活動、地域住民同士の支え合いやつながりが途絶えないよう、働きかけを行った。具体的には昨年度立ち上がった「子安台買い物支援プロジェクト」やちよいボラ団体「子安隊」、サロン「たまたま箱」など住民が支え合い集う機会が継続され、感染対策を講じながら活動ができるように住民と協議し、支援を行った。また、サロンが少ない地域にてサロンの立ち上げの話が上がったため即共有。地域の民生委員にも情報を発信した。今後も各地域・各団体と情報交換しながら、活動継続に向けて支援していく。

地域支援のネットワーク構築に向けて個別ケース、地域活動を通してケアマネジャーと民生委員と密接な連携を図る場を作った。サロンが立ち上がった地域の民生委員児童委員協議会への参加、情報共有と日頃からの関係づくりを重ねる事で「地域包括ケアシステム」の礎作りに取り組んだ。また、子育て支援「かなーちえサテライト」や障がい者就労支援「浦島共同作業所」など他機関との共同企画事業を展開。浦島共同作業所においては当地域ケアプラザの運営協議委員の不在であった障害部門へ選任し、協力を取り付けた。今年度の取組を継続し、次年度はネットワークのさらなる発展を目指していく。

□ 区からのコメント

直近の数年間で、地域の状況が大きく変化し、地域ケアプラザに期待する機能も多様化しました。エリア内に5つの連合自治会があるため、住民・関係機関・支援者の声を直接聴き、職員同士で共有し、アセスメントを行うことも簡単ではないと思いますが、この地道な作業を着実に積み重ねていることが大きな強みになっていると思います。

「子安台買い物支援プロジェクト」では、利用者の減少という課題に対して、対象の範囲や実施方法を運営者と共に検討するなど粘り強く支援を行っています。活動によって、買い物支援が少しずつ地域に浸透している様子が感じられ、何かのきっかけがあれば、より一層の発展が見込める状況にあると考えています。

住民主体の地域づくりでは、3年ぶりに「こども未来会議」を開催し、関係者間で現状の課題と今後の活動計画について共有しました。また、地区の保育園・学童クラブとの連携事業として、フラワープロジェクトも徐々に開催し、子ども達と高齢者の交流の場を再開することにも成功しています。

権利擁護では、図書館、うらしま荘と共催した「ライフデザインノート活用講座」やかなーちえサテライトと共催した「ダブルケアカフェ」など、他の施設と連携することで効果を上げた取組が目立ちました。

上記以外にも、地域のニーズを上手く捉えた事業や専門性を活かした取組が多くあります。今後も、それぞれの職種が集めた地域情報から、健康づくり・生活支援・つながり作り工夫を凝らし、チームワークの良さを活かして、着実に進めてもらいたいと思います。誰もがいつまでも自分らしく役割と生きがいを持って暮らせる地域共生社会の実現のため、引き続きよろしく申し上げます。

令和4年度新子安地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・お一人お一人の希望に合わせて、地域ごとの支援機関や関係機関の一覧表を提示する。 ・相談者の意思を尊重し、サービス事業所は公正に選定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なサービス提供ができるように、事故防止対策の検討や職員研修を積極的に実施する。 ・個人情報保護規程を定めており、当ケアプラザでは、その規程に則り、個人情報の管理に関する担当者と責任者を定めて個人情報保護を推進する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者の意志を尊重し、地域ごとの支援機関や関係機関の一覧表を提示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議でヒヤリハット、事故事例の検討会を実施。 ・個人情報保護の取組に関する研修を全職員に実施。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防ケアマネジメント計画書の中に給付以外のインフォーマルサービスやサービスBなど、地域の特性を生かして、「心身」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との連携や地域課題への取り組みを図り、住み慣れた地域での生活をチームとして支援します。 ・毎週定例会議を行うとともに、ケアマネジャー一人ひとりに合った研修に参加し、ケアマネジャーの質の向上を図ります。
利用料金・実費負担	事業所の通常の事業実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、公共交通機関の運賃分を負担していただきます。	事業所の通常の事業実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、公共交通機関の運賃分を負担していただきます。
職員体制	管理者(保健師兼務)1名 保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士(常勤兼務3名) 予防プランナー(非常勤専従1名、非常勤兼務1名)	管理者(介護支援専門員兼務) 1名 介護支援専門員 常勤専従 3名 常勤兼務 1名 非常勤兼務 1名
契約者数	264件	契約者数 164件(内要支援者19名)

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	平均お客様人数: 29.0名 レクリエーションを充実させ、お客様が選択できる環境を整える。介護技術・接遇の研修を強化し質の向上を図る。	平均お客様人数: 7.5名 住み慣れたご自宅での在宅生活継続。 安心して穏やかに過ごして頂けるようにお一人お一人に合わせた環境づくり。	

実施体制	【実施日数】 年末年始(12月29日～1月3日)を除く 月曜日～土曜日 【提供時間】 9:30～16時35分 【定員】 35名	【実施日数】 年末年始(12月29日～1月3日)を除く 月曜日～土曜日 【提供時間】 9:30～16時35分 【定員】 12名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	1割 2割 3割 (円) 要支援1、2(週1回程度) :1,793・3,585・5,377 要支援2(週2回程度) :3,675・7,350・11,025 サービス提供体制強化加算 I 2 要支援1、2(週1回程度):95 189 283 要支援2(週2回程度):189 378 566 運動器機能向上加算:242・483・ 724 要介護1:703・1,405・2,107 要介護2:829・1,658・2,486 要介護3 :961・1,921・2,882 要介護4:1,092・2,183・3,274 要介護5:1,225・2,449・3,673 サービス提供体制強化加算 I :24・27・71 中重度者ケア体制加算:49・97・ 145 入浴介助加算 I :43・86・129 入浴介助加算 II :59・118・177 科学的推進介護体制加算:43・86・ 129 食費負担:780 特別な行事・レクリエーション:実費	1割 2割 3割 (円) 要介護1:1,080・2,159・3,238 要介護2:1,197・2,394・3,591 要介護3:1,315・2,629・3,943 要介護4:1,432・2,864・4,296 要介護5:1,550・3,099・4,648 サービス提供体制強化加算 I :24 48 72 個別機能訓練加算 I :30・59・88 個別機能訓練加算 II :22・44・66 科学的推進介護体制加算:44・87・ 131 入浴介助加算 I :44・87・131 入浴介助加算 II :60・120・180 食費負担:780 特別な行事・レクリエーション:実費	
職員体制	管理者1名(常勤兼務1名) 生活相談員4名(常勤兼務4名) 看護職員8名(非常勤兼務8名) 介護職員31名(常勤兼務4名・非常勤兼務27名) 機能訓練指導員8名(非常勤兼務8名)	管理者1名(常勤兼務1名) 生活相談員4名(常勤兼務4名) 看護職員8名(非常勤兼務8名) 介護職員19名(常勤兼務4名・非常勤兼務15名) 機能訓練指導員8名(非常勤兼務8名)	
契約者数等	【延べ利用者数】 8331名 【契約者数】 89名	【延べ利用者数】 2086名 【契約者数】 21名	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	介護者のつどい	平成14年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	参加者が話し合える場を作り介護のストレス軽減を図る。介護に必要な技術や資源について講師を招き、参加者が学び情報を得ることができる。	5:地域	5	座談会、在宅医療や施設入所、認知症に関する講義(外部講師) (偶数月の第3木曜日)
2	男介のつどい	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	男性の介護者同士が交流を回り、情報収集や悩みを打ち明けられる場所を設ける。介護者が孤立せず、一人で抱え込んだり、悩み、煮詰まり虐待に繋がらないようストレス軽減に努める。	5:地域	5	座談会、施設入所やエンディングノートに関する講義(必要時外部講師) (年3回)
3	体操教室	平成17年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	転倒防止や筋力アップを図り、要介護状態にならないようにフレイル予防・ロコモ予防を行う。	1:高齢者	1	ストレッチや筋トレ、コグニサイズなどロコモ予防を行う。 毎月2回(第2水曜日・第4水曜日)
4	CMサロン	令和3年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域のケアマネジャーと、連携を深めたり、勉強会をすることで包括的にケアマネジャーを支援していく。	6:事業者	6	地域のCM・協力医・サービス事業所を呼んで勉強会や交流会とする。
5	民生委員とCMの交流会	平成25年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	民生委員とCMの交流会を通し、顔の見える関係づくりから、関係機関との連携を強めていく。	5:地域	5・6	地域の課題を通し、民生委員とCMの気づきを話し合ったり、福祉の勉強会を行う。
6	オルトの勉強会	令和3年	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	オルトビューターには民生委員が不在、包括との関りを持つことで関係をつくり構築を図る。	5:地域	5	四半期に一回
7	おりがみ教室	平成22年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	伝統工芸としての折り紙を通し、その工芸の技を学び、楽しみながら仲間と親睦、交流を図る。	1:高齢者	5	指導者による折り紙の指導。閉じこもり防止。仲間作り、手先を使うことで認知症予防、介護予防。月1回実施
8	民謡教室	平成15年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者の介護予防の一環。地域の高齢者の生きがいづくり・交流・仲間づくり・居場所づくり	1:高齢者	5	講師の尺八・三味線に合わせて、声合わせのあと、順番に持ち歌を唄っていく。ボランティアが講師対応や各種セッティングを主体的に行っている。
9	太極拳	平成17年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	太極拳を通じて地域の方々の健康増進を図る。	1:高齢者	5	毎月第4月曜日に実施。対象年齢を幅広くとらえて、地域に門戸を広げている。準備運動の後、講師・ボランティアの指導のもと、太極拳の形を順番に演じ、さらに連続して行う。
10	ふれあいサロン	平成14年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	介護予防事業として実施。高齢者の生きがいづくり、仲間作り、閉じこもり防止のために行う。	1:高齢者	5	毎月1回第2水曜日に実施。サロン形式のミニデイサービスとして実施。主に手先を使う創作活動、工作、調理などを行う。途中にお茶とお菓子を頂く時間を入れて、全員でティータイムを団楽する。年に1回外出(工場見学等)レクを行っている。
11	活き粋ストレッチ	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者介護予防事業の一環として、実施する体操教室。神奈川区高齢者介護予防事業として行っていたが、補助金の打ち切りにより、自主財源による事業となる。ストレッチを中心とした筋力アップにより、転倒骨折予防体操を行う。	1:高齢者	5	毎月第24火曜日に実施。参加者には、体調チェック、バイタルチェックを行い、安全面に配慮してから、開始する。スポーツインストラクターの指導のもと、ストレッチを含む体操を行う。
12	ゆる体操	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	激しい運動には適応できない、高齢者の身体を動かしたいというニーズに応え、高齢者等のADLの維持、向上に寄与する。ゆる体操によって、高齢者の介護予防にも役立てる。ストレスや疲労で固まった現代人の身体をゆる体操でゆるめて、血行を良くし、地域住民の健康増進に貢献する。	1:高齢者	5	毎月第13水曜日に実施。ゆる体操指導員の指導により、マットを使用したの仰臥位や長座位での体操や立位での体操。
13	囲碁将棋開放デー	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザを地域住民に広く開放して、近隣住民の交流を深め、地域福祉の貢献につなげる。囲碁将棋を通して脳や指先を活性化させて、介護予防に役立てる。	5:地域	1	毎月第2月曜日に実施。13時～16時の間の好きな時間に参加する。地域ケアプラザのボランティアルームにて囲碁将棋の対局を行う。ボランティアが対局の調整を行う。

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
14	パラダイス	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がい児やその親が定期的集まれる場所を設け、学校や地域の枠を超えた交流を図る。また、会を通して地域の中で顔の見える関係づくりの構築を図る。	2：障害児・者	5	毎月第3金曜日16時～20時を開放。ケアプラザ主催というだけではなく、当事者とその家族も巻き込んで事業展開していく。
15	はじめま書	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子どもの放課後居場所づくりを地域の中で確立し、地域の中で子どもを育てる環境づくりを作ることができる。同様の世代が地域と繋がり、孤立化を予防できる形作りとして、特技を生かせる場をケアプラザから地域に発信することができる。こどもの悩みを聞く機会が持てる。	4：子ども・青少年	5	月に2回(第2・第4火曜)に書道教室を行う。講師と地域のボランティアさんにて開催している。子どもたちに地域活動へ興味を持ってもらえるように、ケアプラザ広報紙のタイトル部分を書いてもらった。
16	かなプラ子育て応援タイム	平成23年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	神奈川区地域子育て拠点かなーちえと新子安すくすく子がめ隊と新子安地域ケアプラザの共催事業。子育て支援を目的に乳幼児をもつ養育者を対象にストレス解消と交流促進を図る。	3：養育者及び乳幼児	5	子育て中の親子のふれあいや交流を図り、顔の知れた子育てが地域の中で行えるように年3回の事業を実施する。
17	男の食講座「男組」	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	単独高齢者、高齢者世帯が増加している中、男性高齢者も簡単な料理をする技術を身につけておく必要がある。料理をするきっかけづくりをする。男性高齢者の社会的孤立の解消、親睦・交流を深める。男性の家事の自立を図る。	1：高齢者	5	毎月1回第2日曜日に実施。管理栄養士である料理の先生の指導のもと、調理から、試食、後片付けまで行う。試食の時間等に食材や栄養の話などして、交流を深める。平成24年度より、自主団体となり、地域ケアプラザが後方支援を行う。
18	なべの会	平成13年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者のひきこもりを防止。独居老人等の社会的孤立を防ぐ。集いの場として食事会の開催。	1：高齢者	5	新子安地区連合主催の食事会なべの会を開催。毎月1回主として独居高齢者対象の会食サービスボランティア活動を実施。地域や町会の各種イベントにもボランティアとして参加。
19	和の会	平成13年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者のひきこもりを防止。独居老人等の社会的孤立を防ぐ。集いの場として食事会の開催。	1：高齢者	5	入江1丁目東部町愛会主催の高齢者向け食事会和の会を開催。毎月1回主として独居高齢者対象の会食サービスボランティア活動を実施。地域や町会の各種イベントにもボランティアとして参加。
20	新子安地区すくすくかめっ子	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ぐるみで世代を越え、子どもを見守りながら育ていける街づくりのための親子のたまり場づくり。お母さんたちの居場所づくり、仲間づくりができるように支援する。	3：養育者及び乳幼児	5	新子安地区すくすく子がめ隊通称かめっ子として実施。開催時間内に自由に入り出て、子どもを遊ばせたり、親同士で情報交換をする。毎月第3水曜日に児童委員等のボランティアにより実施。今年度からは日産ウェルフェアで開催していた物も、毎月第4日曜日にケアプラザで開催する運びとなった。開催日には安全等に充分に配慮する。
21	とんぼ☆プラザ	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援事業の一環として放課後余暇支援を行い、地域の学童保育事業を支援する。関係機関との連携強化。地域の子どもたちとボランティアとの世代間交流。	4：子ども・青少年	4	子育て支援事業として、地域の学童保育を担っている子安学童クラブとんぼと、H24年度より共催事業として実施することになった。
22	子安赤ちゃん学級	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域で第1子乳幼児を持つ親を対象とした子育て支援。子育ての悩みや不安の相談や親同士の情報交換の場の提供。	3：養育者及び乳幼児	5	神奈川区福祉保健センターこども家庭支援課が担当。支援者がついて行う。毎月第1水曜日午前に開催。出入り自由で、開催時間内の好きな時間に参加できる。
23	パラダイスNEXT	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいのある方やその関係者が定期的集まれる場所を設け、地域の枠を超えた交流を図る。また、会を通して地域の中で顔の見える関係づくりの構築を図る。	2：障害児・者	5	毎月第3金曜日16時～20時を開放。ケアプラザ主催というだけではなく、当事者と関係機関も巻き込んで事業展開していく。
24	子安台買い物支援	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	子安台地区は高齢化率が高く、高台に位置しているため買い物難民が増加していて、自治会やNPO法人と共に地域住民の暮らしを支える取り組みを実施。継続的な運行が出来るよう支援する。	1：高齢者	5	子安台1丁目・2丁目を対象に毎週水曜日15:00～近隣のスーパーへの送迎を実施している。

令和4年度「横浜市新子安地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	33,622,808	183,568	33,806,376	33,806,376	0	横浜市より ICT整備費(追加)・サニター(追加)
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)	0	0	0	452,300	△ 452,300	
横浜市による運営支援	0	457,000	457,000	457,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	0	0	0	85,315	△ 85,315	
印刷代	0	0	0	60,684	△ 60,684	
自動販売機手数料	0	0	0	24,631	△ 24,631	
その他	0	0	0	0	0	
その他	3,926,500	0	3,926,500	△ 625,693	4,552,193	
収入合計	37,549,308	640,568	38,189,876	34,175,298	4,014,578	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,860,544	0	11,860,544	11,040,107	820,437	
本俸	8,138,500	0	8,138,500	7,638,498	500,002	
社会保険料	118,000	0	118,000	1,180,591	△ 1,062,591	
手当計	2,010,000	0	2,010,000	2,003,711	6,289	
健康診断費	49,900	0	49,900	49,900	0	
勤労者福祉共済掛金	7,506	0	7,506	7,506	0	
退職給付引当金繰入額	155,751	0	155,751	155,751	0	
その他	1,380,887	0	1,380,887	4,150	1,376,737	
事務費	857,000	0	857,000	3,958,651	△ 3,101,651	
旅費	6,248	0	6,248	6,248	0	
消耗品費	179,464	0	179,464	179,464	0	
会議贈い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	65,876	0	65,876	65,876	0	
通信費	372,330	0	372,330	372,330	0	
使用料及び賃借料	24,631	0	24,631	21,120	3,511	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)	24,631	0	24,631	21,120	3,511	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	11,242	0	11,242	11,242	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	16,924	0	16,924	16,924	0	
職員等研修費	17	0	17	17	0	
振込手数料	32,241	0	32,241	32,241	0	
リース料	0	0	0	2,993,957	△ 2,993,957	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	148,027	0	148,027	259,232	△ 111,205	
事業費	1,703,568	0	1,703,568	18,993	1,684,575	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	0	42,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	264,000	0	264,000	18,993	245,007	
その他	1,397,568	0	1,397,568	0	1,397,568	
ICT整備費(追加)	0	168,568	168,568	170,836	△ 2,268	
ICT整備費(追加)		168,568	168,568	170,836	△ 2,268	
サニターボックス(追加)	0	15,000	15,000	550	14,450	
サニターボックス		15,000	15,000	550	14,450	
管理費	20,157,697	457,000	20,614,697	18,984,641	1,630,056	
光熱水費	8,170,826	457,000	8,627,826	8,212,728	415,098	
清掃費	1,029,343	0	1,029,343	984,280	45,063	
機械整備費	87,596	0	87,596	87,596	0	
設備保全費	382,014	0	382,014	382,014	0	
空調衛生設備保守	146,966	0	146,966	146,966	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	235,048	0	235,048	235,048	0	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	9,168,023	0	9,168,023	9,168,023	0	
その他	1,319,895	0	1,319,895	150,000	1,169,895	
修繕費	474,000	0	474,000	112,845	361,155	予算:指定期額
公租公課	569,999	0	569,999	0	569,999	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	569,999	0	569,999	0	569,999	
その他	1,926,500	0	1,926,500	538,165	1,388,335	
支出合計	37,549,308	640,568	38,189,876	34,653,402	3,536,474	
差引	0	0	0	△ 478,104	478,104	

自主事業費 収入	0	0	0	452,300	△ 452,300
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	18,993	245,007
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	433,307	△ 697,307

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	24,631	△ 24,631	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	24,631	0	24,631	21,120	3,511	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 24,631	0	△ 24,631	3,511	△ 28,142	

※各大大目内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市新子安地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	33,981,120	0	33,981,120	33,981,120	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
横浜市による運営支援【包括】	0	0	0	0	0	
横浜市による運営支援【生活支援】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	2,894,500	0	2,894,500	△ 2,883,719	5,778,219	
収入合計	42,831,620	0	42,831,620	37,053,401	5,778,219	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,460,824	0	33,460,824	29,262,869	4,197,955	
本俸	18,730,412	0	18,730,412	17,007,673	1,722,739	
社会保険料	4,823,076	0	4,823,076	3,823,076	1,000,000	
手当計	7,627,839	0	7,627,839	7,627,839	0	
健康診断費	37,025	0	37,025	37,025	0	
勤労者福祉共済掛金	31,506	0	31,506	31,506	0	
退職給付引当金繰入額	734,250	0	734,250	734,250	0	
その他	1,476,716	0	1,476,716	1,500	1,475,216	
事務費	702,720	0	702,720	1,580,272	△ 877,552	
旅費	10,768	0	10,768	25,057	△ 14,289	
消耗品費	137,006	0	137,006	157,931	△ 20,925	
会議随い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	103,920	0	103,920	107,552	△ 3,632	
通信費	352,540	0	352,540	491,796	△ 139,256	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	25,000	0	25,000	22,484	2,516	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	4,400	0	4,400	33,848	△ 29,448	
職員等研修費	0	0	0	7,232	△ 7,232	
振込手数料	12,112	0	12,112	64,078	△ 51,966	
リース料	52,254	0	52,254	0	52,254	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	4,720	0	4,720	670,294	△ 665,574	
事業費	1,841,280	0	1,841,280	1,166,000	675,280	
協力医	630,000	0	630,000	630,000	0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000	0	100,000	100,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000	0	151,000	151,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000	0	309,000	309,000	0	
その他	651,280	0	651,280	△ 24,000	675,280	
管理費	5,358,375	0	5,358,375	10,339,766	△ 4,981,391	
光熱水費	1,994,029	0	1,994,029	2,183,129	△ 189,100	
清掃費	261,642	0	261,642	261,642	0	
機械整備費	23,284	0	23,284	23,284	0	
設備保全費	101,546	0	101,546	101,546	0	
空調衛生設備保守	39,066	0	39,066	39,066	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	62,480	0	62,480	62,480	0	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	2,476,937	0	2,476,937	2,476,937	0	
その他	500,937	0	500,937	5,293,228	△ 4,792,291	
修繕費	126,000	0	126,000	29,995	96,005	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	1,342,421	0	1,342,421	△ 5,341,820	6,684,241	
支出合計	42,831,620	0	42,831,620	37,037,082	5,794,538	
差引	0	0	0	16,319	△ 16,319	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	560,000	0	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 560,000	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:新子安地域ケアプラザ

令和4年4月1日～ 令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	14,310	14,530	-220	25,906	28,340	-2,434	96,095	70,318	25,777	35,416	25,484	9,932	
	その他	0	0	0	0	1,568	-1,568	74	22,824	-22,750	0	8,066	-8,066	
	補正													
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	21,184	-21,184	0	7,238	-7,238	
	補正													
	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援	0	0	0	0	0	0	0	624	-624	0	312	-312	
	補正													
新型コロナ補助金	0	0	0	0	60	-60	0	492	-492	0	144	-144		
	その他	0	0	0	0	1,508	-1,508	74	524	-450	0	372	-372	
	収入合計(A)	14,310	14,530	-220	25,906	29,908	-4,002	96,169	93,142	3,027	35,416	33,550	1,866	
支出	人件費	3,384	3,408	-24	22,059	24,012	22,059	71,386	69,443	1,943	22,621	27,169	-4,548	
	事務費	6,957	0	6,957	1,628	2,548	-920	7,305	12,166	4,862	1,582	3,950	-2,368	
	事業費	0	0	0	59	86	-27	12,350	7,518	4,832	4,131	2,559	1,572	
	管理費	0	0	0	0	0	1,628	9,036	6,854	11,479	3,933	1,843	2,090	
	その他	7,640	7,376	264	0	31	-31	0	66	-66	0	0	0	
		利用者負担軽減額			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		消費税			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		介護予防プラン委託料	707	1,063	-356	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		介護予防プラン委託料	6,933	6,313	620	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0		31	-31	0	66	-66	0	0	0	
	支出合計(B)	17,981	18,160	7,197	23,746	26,677	22,709	100,077	96,047	23,050	32,267	35,521	-3,254	
	収支 (A) - (B)	-3,671	-3,630	-7,417	2,160	3,231	-26,711	-3,908	-2,905	-20,023	3,149	-1,971	5,120	